

# COMPANY RESEARCH AND ANALYSIS REPORT

|| 企業調査レポート ||

## 大幸薬品

4574 東証 1 部

[企業情報はこちら >>>](#)

2018 年 12 月 19 日 (水)

執筆：客員アナリスト

**角田秀夫**

FISCO Ltd. Analyst **Hideo Kakuta**



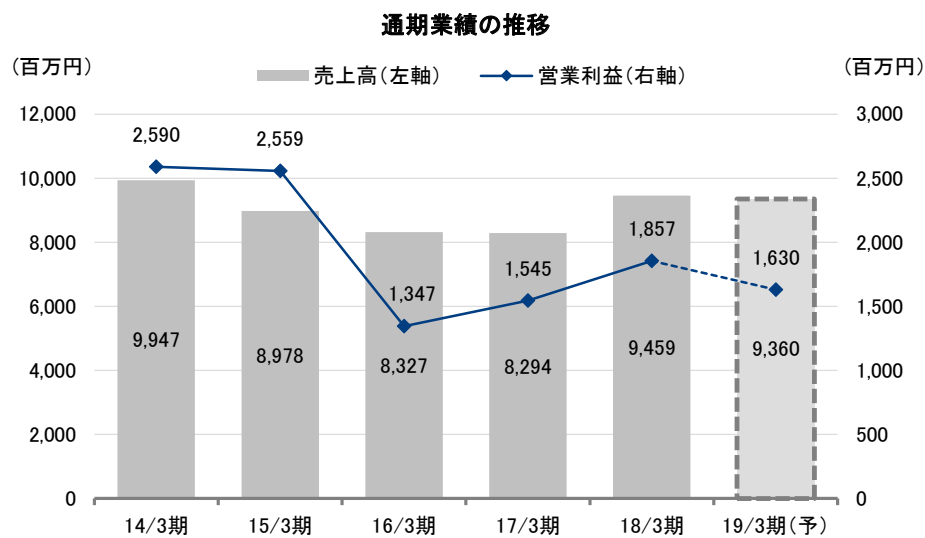
FISCO Ltd.

<http://www.fisco.co.jp>

## 業績動向

### 2019年3月期第2四半期は、 感染管理事業が大幅に伸長し増収増益

大幸薬品<4574>は、「正露丸」「セイロガン糖衣A」を中心とする医薬品事業と、ウイルス除去・除菌・消臭製品「クレベリン」シリーズを中心とした感染管理事業を展開している。



出所：決算短信よりフィスコ作成

#### ● 2019年3月期第2四半期の業績概要

2019年3月期第2四半期は、売上高が3,825百万円(前年同期比5.3%増)、営業利益が644百万円(同28.1%増)、経常利益が603百万円(同57.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益が448百万円(同62.3%増)と増収増益となった。

売上高に関しては、医薬品事業の減収を感染管理事業が補った。国内医薬品事業の売上高は2,046百万円(前年同期比1.8%減)と微減。前年同期に新発売した「正露丸クイックC」の初期出荷があったため、反動減が影響した。海外医薬品事業の売上高は453百万円(同18.5%減)。香港市場向け等で出荷時期の変更があり減収となった。ただし、2019年3月期中の出荷予定に変わりはなく、この影響は期末までに取り戻せる見込みである。

感染管理事業の売上高は、1,315百万円(前年同期比34.3%増)と大幅増収。2018年はクレベリン製品のデザインリニューアルを行い、それに伴う販促強化により店頭の陳列スペースが拡大したことが出荷拡大の要因である。

業績動向

売上総利益は増収効果等で増加。売上総利益率も感染管理製品の増産効果等により改善した。販管費は、マーケティング部門の人員強化や京都工場製造試験費用等により増加したが伸び率は低かった。結果として、営業利益を始めとする各利益は大幅な増益となった。

2019年3月期第2四半期 連結サマリー

(単位：百万円)

	18/3期2Q		19/3期2Q		前年同期比	変化要因
	金額	売上比	金額	売上比		
売上高	3,634	100.0%	3,825	100.0%	5.3%	国内医薬品事業は、前年同期新発売の正露丸クイックCの初期出荷の反動減 海外医薬品事業は、出荷時期変更(2019年3月期中には出荷予定)の影響がある 感染管理事業は、一般用の製品デザインリニューアルに伴う販促強化により 店頭陳列スペースが拡大し出荷が大幅増加
内) 国内医薬品事業	2,084	-	2,046	-	-1.8%	
内) 海外医薬品事業	556	-	453	-	-18.5%	
内) 感染管理事業	979	-	1,315	-	34.3%	
売上総利益	2,455	67.6%	2,638	69.0%	7.4%	増収等により利益額増加、増産効果等により利益率改善
販管費	1,952	53.7%	1,993	52.1%	2.1%	前年同期新発売した正露丸クイックCの広告宣伝費及び販売促進費が反動減 マーケティング部門の人員強化等により人件費増加 京都工場製造試験費用等により研究開発費増加
営業利益	502	13.8%	644	16.8%	28.1%	
経常利益	382	10.5%	603	15.8%	57.7%	未稼働設備関連費用34百万円減、為替差益33百万円計上
親会社株主に帰属する 四半期純利益	276	7.6%	448	11.7%	62.3%	

出所：決算短信・決算説明資料よりフィスコ作成

## 今後の見通し

### 2019年3月期通期は、医薬品は売上微増、感染管理は売上微減予想。 クレベリン新デザイン製品及びそのブランディング戦略に期待

#### ● 2019年3月期の業績見通し

2019年3月期通期の業績予想は、売上高で前期比1.1%減の9,360百万円、営業利益で同12.2%減の1,630百万円、経常利益で同8.8%減の1,430百万円、親会社株主に帰属する当期純利益で同7.8%減の1,010百万円と期初の予想を据え置いた。季節性インフルエンザが大流行した前期には及ばないものの、平均的な流行を前提として堅調な業績を見込んでいる。

医薬品事業の売上高は前期から微増を予想する。国内医薬品事業では、前期の正露丸クイックCの初期出荷の反動がマイナス面だが、正露丸商品群全体としての新しいメッセージ「全下痢対応」の浸透で底上げを図りたい考えだ。海外医薬品事業では、中国市場向けを中心に出荷増加を予想する。想定為替レート(105円/米ドル)より円安が続いており為替差益が通期でも膨らむ可能性がある。

今後の見通し

感染管理事業は、例年並みの季節性インフルエンザの流行を前提に計画し、過去10年で最大水準の流行であった前期から売上高で2.7%減と予想する。2019年3月期は、世界的なデザイナー佐藤オオキ氏率いるデザインオフィス(有)nendo※と複数年の包括的パートナー契約を結び、製品ブランディングの抜本的見直しや新製品の販売等を計画する。新しいデザインのクレベリン製品(「クレベリン×ヘアブリック」を含む)は、第2四半期の段階で店頭棚割り提案を行い、需要期を前に好調に出荷されている。第2四半期までの売上高進捗率は33.9%(前年同期は24.6%)と前年同期を上回る。既に店頭の陳列スペースが拡大していることから、今後の最需要期におけるインフルエンザの流行や、新ブランディングに基づく広告販促の内容次第では、業績上振れも期待できる。

※ nendoは佐藤オオキ氏を中心に設立された日本を代表するデザインオフィス。東京とミラノに拠点を持ち、建築、インテリア、プロダクト、グラフィックと幅広くデザインを手掛ける。老舗ブランドの活性化でも多くの実績がある。

業績の推移

(単位:百万円)

	売上高	前期比	営業利益	前期比	経常利益	前期比	純利益	前期比	EPS (円)	配当 (円)
12/3期	6,683	44.7%	515	-	558	-	482	-	37.23	15
13/3期	7,443	11.4%	1,120	117.7%	1,211	116.8%	1,037	115.2%	81.31	15
14/3期	9,947	33.6%	2,590	131.3%	2,683	121.5%	1,747	68.4%	135.94	25
15/3期	8,978	-9.7%	2,559	-1.2%	2,776	3.5%	1,770	1.3%	138.93	25
16/3期	8,327	-7.3%	1,347	-47.3%	1,307	-52.9%	840	-52.6%	65.23	15
17/3期	8,294	-0.4%	1,545	14.7%	1,407	7.7%	1,049	24.9%	76.45	20
18/3期	9,459	14.0%	1,857	20.2%	1,567	11.4%	1,094	4.3%	77.38	25
19/3期(予)	9,360	-1.1%	1,630	-12.2%	1,430	-8.8%	1,010	-7.8%	70.94	25

出所:決算短信よりフィスコ作成

## トピックス

### クレベリン新デザイン製品を続々投入。 ブランドロゴ新、新しい店頭棚割り提案も好調

#### 1. 新しいデザインのクレベリン新製品

同社は中長期成長戦略の柱としてマーケティング及びブランディングの改革を推進中だ。世界的デザイナーである佐藤オオキ氏が率いる nendo と複数年の包括的パートナー契約を結び、マーケティング及びブランディング戦略を刷新する。2019年3月期は感染管理事業において、クレベリン製品（BtoC）のターゲットを「妊産婦」、「受験生+親」等明確に設定し、広告宣伝・販売促進等のマーケティング施策を連動させる。パッケージ・製品デザインは全面リニューアル。国内一般用の新製品としては、(1)「クレベリンシリーズ」リニューアル品、(2)「クレベリン 置き型 専用ケース（クレベリン 置き型に被せるデザイン性の高いカバー）」、(3)「クレベリン×ベアブリック トイ・ストーリー キャラクターデザイン」、(4) ミッキーマウスをデザインした「スティック」が登場した。社内のマーケティング組織は、新たなリーダーのもと、陣容を強化した。クレベリン製品群のブランド強化に挑戦している。

#### リニューアル品・新製品順次発売

##### 世界的デザイナーの佐藤オオキ氏が率いるnendoによるデザイン



「クレベリンシリーズ」リニューアル品  
※2018年9月13日より発売



クレベリン 置き型 専用ケース  
※2018年10月1日より発売

##### 新キャラクターデザイン



※2018年9月13日より発売  
クレベリン スティック  
ミッキーマウス限定デザイン  
© Disney



※2018年9月13日より発売  
クレベリン×ベアブリック  
トイ・ストーリー キャラクターデザイン  
© Disney/Pixar

出所：決算説明資料より掲載

## トピックス

### (1) 「クレベリンシリーズ」リニューアル品

クレベリンの置き型タイプは、2008 年の発売以来市場に普及し、置き型タイプでは国内シェア約 8 割を誇り、衛生管理製品のリーディングブランドに成長した。ブランドの全面リニューアルは今回が初めてとなる。機能や使い方の更なる理解、浸透を目的に、パッケージのデザイン、製品名、ブランドロゴを一新した。製品本体は空間に馴染むよう、白を基調にしたシンプルなデザインに仕上げた。新たにブランドアイコン「シードット(C に点)」を用い、視認性を高めることで、クレベリンの認知拡大を目指す。

### (2) 「クレベリン 置き型 専用ケース (クレベリン 置き型に被せるデザイン性の高いカバー)」

2018 年 10 月には、クレベリン置き型の「専用ケース」を新発売した。自宅やオフィス、店舗等様々なシーンにマッチできるデザインが特長で、「使用期限を忘れがち」という使用者からの意見に応え、「使用期限月」を表示する回転ダイヤルを設置した。専用ケースには、イラストやメッセージを描くことができるので、出産や受験、入学・卒業等、イベント時のギフトとしての用途も想定する。

### (3) 「クレベリン×ベアブリック トイ・ストーリー キャラクターデザイン」

2016 年から開始された「クレベリン×ベアブリック」は、“置きたくなるおしゃれなデザイン”をコンセプトに開発されたもので、毎年限定出荷分が早々に売り切れる等人気が高い。2017 年は、「ミッキーマウス」「ジャック・スケリントン」「ダース・ベイダー」「ストームトルーパー」をあしらった「クレベリン×ベアブリック」が登場し、小売店頭を活性化した。2018 年の新キャラクターは、ディズニー / ピクサー映画『トイ・ストーリー』の「ウッディ」「バズ・ライトイヤー」の 2 種類。幅広い世代に人気のキャラクターをデザインすることで、クレベリンをより身近にする狙いがある。また店頭での陳列スペースを確保し、シェア拡大にも貢献している。

### (4) ミッキーマウスをデザインした「スティック」

クレベリン スティックは、クレベリンを胸ポケットやネックホルダー等に装着して使用するペン型タイプと、カバーに入れて身に付けるストラップ型タイプの 2 種である。新製品はミッキーマウスのスクリーンデビュー 90 周年を記念したデザイン。スティックの専用ケースは、様々な使用シーンに馴染むよう、黒を基調にミッキーマウスのデザインをさりげなく描いたもの。またストラップは、ミッキーマウスのアイコンデザインを施している。電車やバス、学校や塾、会社、病院等、外出時における衛生対策を楽しく演出する製品となっている。

クレベリンの新たな棚割りは、鮮やかな青を基調とし、インパクトのあるロゴやシンプルなデザインが浮かび上がる印象的な仕上がり。全国のドラッグストア、GMS 等の小売店への新たな棚割り提案を既に行っており、順調に受け入れられている。

大幸薬品 | 2018年12月19日(水)  
4574 東証1部 | <https://www.seirogan.co.jp/ir/>

トピックス

### 店頭での棚割りイメージ



出所：会社資料より掲載

## 株主還元

### 2019年3月期は普通配当を15円から25円へ。 さらに特別配当にも期待

#### 2. 2019年3月期の配当予想

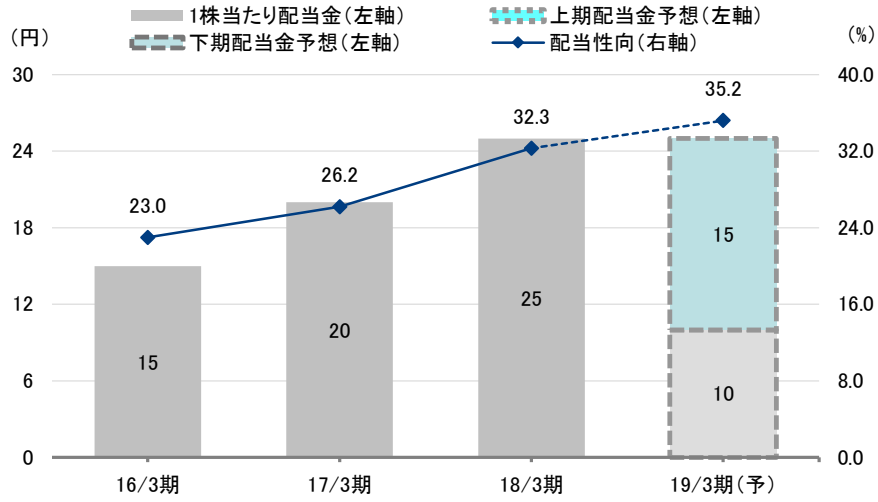
同社は、堅実な成長を維持する事業展開と安定的な経営体力維持のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を維持していくことを基本方針とし、連結業績も反映した配当政策としている。2019年3月期の配当予想は、年15円であった普通配当を年25円に引き上げるとともに、引き続き業績に応じて特別配当も検討するとしている。

また、これまで期末のみ（年1回）であった配当を、2019年3月期から年2回とする。同社の業績は感染管理事業の季節変動のため下期偏重となるが、上期においても株主還元をしっかりと充実させた形だ。

中間配当は10円を実施。期末には15円の配当を予想している。

株主還元

1株当たり配当金と配当性向



出所：決算短信よりフィスコ作成



#### 重要事項（ディスクレーマー）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性や、本レポートに記載された企業の発行する有価証券の価値を保証または承認するものではありません。本レポートは目的のいかんを問わず、投資者の判断と責任において使用されるようお願い致します。本レポートを使用した結果について、フィスコはいかなる責任を負うものではありません。また、本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業との電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。本レポートに記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ